



北高SSHニュース

サイエンスキャッスル九州大会



2017年12月17日
会場：熊本県立水俣高校（熊本県水俣市）
九州大会2017

12月17日(日)、水俣市の水俣高等学校の体育館を会場としてサイエンスキャッスル九州大会2017が開かれました。九州・沖縄から山口県まで計28校より61チームが参加して、発表を行いました。午前中は事前審査により選出された10チームが口頭発表を、午後からは全61チームが、ポスター発表を行いました。



化学部 & 地学部

本校からは化学部と地学部だけの参加となりました。2学年の台湾修学旅行と日程が重なってしまったため、研究を行った2年生のピンチヒッターとして1年生だけ4人の参加となりました。全員初めての発表でしたが、発表も質疑応答も堂々とやり遂げました。



特別講演

開会式直後と閉会式直前には、熊本大学の先生による2本の特別講演があり、高校生に向けての熱いメッセージを貰いました。

山川 俊貴 先生

(熊本大学先導機構)

「からだのほんの少しの未来を予測する」リアルタイム心拍変動解析を使えば、てんかんや熱中症が予測できる!体調の急変という“ほんの少しの未来”を予測し、病気に耐えられる世界の創出を目指す。



中田 晴彦 先生

(熊本大学先端科学研究部)

「Something New & Different - ケーススタディとしての環境研究 -」

研究活動は他とは異なる奇想天外な新規性が求められる。1ppt(1兆分の1)という極微量成分の精密分析技術を駆使し、日常生活をよりよく過ごせるよう研究をする。



ポスター発表

発表題は、化学部が「鉄は両性金属か!? Part2」、地学部が「北高に吹く風 Part2」で、どちらも研究奨励賞を獲得しました。(写真上〇〇くん(1-〇)、下左から〇〇くん(1-〇)、〇〇くん(1-〇)、〇〇くん(1-〇))

